

ボーイスカウト東京連盟  
あすなろ地区 広報誌  
第34号  
2021年(令和3年)  
3月2日  
組織拡充委員会

## 指導者の確保が急務！

## あすなろ地区協議会長 岡村 實

三指

令和3年も一ヶ月が過ぎましたが、あすなろ地区の皆さまもご健勝のことと思います。さて、2月3日は立春で「寒」があけて、暦の上では春になりますが、新型コロナウイルスも早く収束し、明るく、楽しい春を迎えたいものです。

コロナ禍ですが、あすなろ地区の各団のスカウト、指導者はオンライン集会や感染防止対策の徹底等、これまでにない体験をされ、日夜スカウティングの継続に努力されている事に敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

まさに「Scouting Never Stops!」です。

「野外を教場に青少年を育成する」は、ボーイスカウト教育の基本の一つですが、スカウト達は、学校でもボーイスカウトでも元気に活動しています。それを支援するのが我々成人指導者です。ところが指導者が不足し、団や隊の存続が困難になりそうとの声も漏れ聞きます。

これまでも指導者不足で隊が継続できなかつたとか、廃団になった例もあります。スカウト数の増加が重要な事は言うまでもありませんが、今こそローバースカウトから指導者への育成や、保護者から指導者へのリクルート、更には指導者OB、OGの再登録など、色々な取り組みを通じて指導者を確保し、いつスカウトが来ても楽しい的確なスカウティングが行える事が求められています。これこそが、「そなえよつねに」です。

人生にとって「良き師、良き友、良き読書」との出会いが成長の助けになると思います。

「スカウティング・フォア・ボーイズ」を読み、組や班の仲間と活動しながら、良き指導者に導かれ、スカウト達は成長します。指導者各位のより一層のご指導をお願いいたします。

「即今只今(そっこんただいま)」という禅語がありますが、私は「今出来る事をやる」と解釈しています。コロナ禍ですが、このような時こそ早期の取り組みが急務と痛感しています。

末尾となりますが、1月の地区協議会も書面方式になり申し訳ありませんでした。令和3年の地区総会は是非とも対面で実施し、皆さまとお会いできる事を願っています。

更に、あと一年にせまった日本連盟創立100周年も皆さまとお祝いし、100周年の2022年に東京・海の森公園などで開催される第18回日本スカウトジャンボリーの準備も着実に進めていきたいと思っています。

今後ともあすなろ地区発展のため、皆さまのご支援・ご協力をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

弥栄

(令和3年1月14日、記)



## オンラインで伝達式

1月28日(木)にZOOMで開催された地区委員会に先立ち、菊スカウト進級証、ハイク200(通称プラチナハイカー)認定証、ウッドバッジ実修所ベンチャースカウト課程修了証が下記の皆さんに伝達されました。

新型コロナウイルス感染防止のため、初めてZOOMによるオンラインでの伝達式となりましたが、顔を会わせての伝達と同様に、国旗儀礼のあと、画面を通して受章者の名前が一人ずつ読み上げられ、受章者は画面上で返事し、進級証や認定証が画面上に表示されました。

お祝いの言葉として、岡村協議会長より、「受章はご自身の努力によるものですが、団の関係者の指導、ご両親をはじめ家族の皆さんへの感謝を忘れずに、次の目標を目指していただきたい」の話があり、弥栄三唱も画面上で行われました。

### 菊スカウト進級証

杉並5団 辻 凜太郎  
杉並11団 出原 もも、逢坂 真依、高野 真帆、米田 真大

### ハイク200(通称プラチナハイカー)認定証

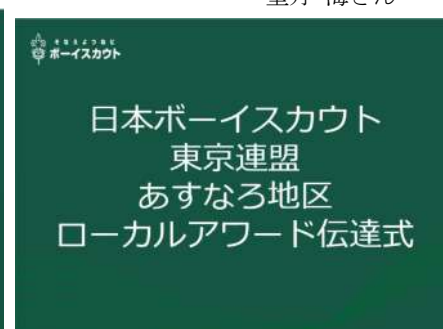
杉並11団 出原 もも、高野 真帆、斎藤 敦、逢坂 真依

### ウッドバッジ実修所ベンチャースカウト課程修了証

杉並9団 望月 海



望月 海さん

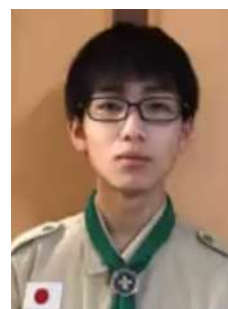
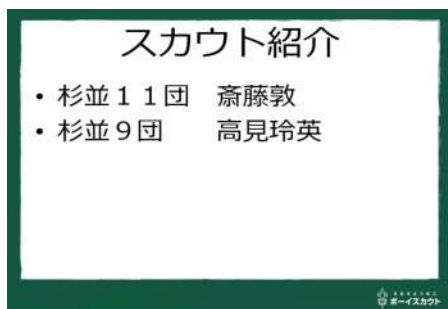


式次第に合わせて画面上に表彰者名などを表示

### 菊スカウト章、進級証

2月25日(木)にZoomで開催された地区委員会に先立ち、菊スカウト章、進級証が以下のスカウトに伝達されました。

杉並9団 高見 玲英  
杉並11団 斎藤 敦



佐藤地区委員長の激励の言葉も画面から

斎藤 敦さん

高見玲英さん



## 登録審査会もオンラインで開催

登録審査会は毎年、各団の登録担当者と地区の登録審査担当者が対面して開催されていましたが、コロナウイルス感染防止のため、2月11日（祝）、初めてオンラインで開催されました。

審査会は各団の審査に必要な時間を15分間で見込み、各団の審査開始時間を設定して、団号順に行われました。

各団の登録担当者は登録審査会の前に、継続登録に必要な書類を各団に指定されたファイルにアップロードし、地区の登録審査担当者は、ファイル内容を事前にチェックして、必要な帳票を画面に表示して質問するなどして審査したため、予定時間より早めに進行しました。

CS <sup>①</sup>					(2020/4/26-4/29) <sup>②</sup> ・CS 課程東京 7 <sup>③</sup> (2020/6/7) <sup>④</sup>	
(見本) VS <sup>⑤</sup>	日比野典子 <sup>⑥</sup>	2017年度 <sup>⑦</sup>	済 <sup>⑧</sup>	未 <sup>⑨</sup>	2020年度実修所参加予定 <sup>⑩</sup>	
団委員長		2010年度 <sup>⑦</sup>	未 <sup>⑧</sup>	済 <sup>⑨</sup>	調整中 <sup>⑪</sup>	
BVS <sup>⑫</sup>		2020年度 <sup>⑦</sup>	未 <sup>⑧</sup>	済 <sup>⑨</sup>	2021年度スカウトコース予定 <sup>⑩</sup>	
CS <sup>⑬</sup>		2020年度 <sup>⑦</sup>	済 <sup>⑧</sup>	済 <sup>⑨</sup>		
BS <sup>⑭</sup>		2021年度 <sup>⑦</sup>	済 <sup>⑧</sup>	済 <sup>⑨</sup>		
VS <sup>⑮</sup>		2014年度 <sup>⑦</sup>	済 <sup>⑧</sup>	済 <sup>⑨</sup>		
RS <sup>⑯</sup>		2021年度 <sup>⑦</sup>	済 <sup>⑧</sup>	済 <sup>⑨</sup>		

活動の活性化・適正化のために、以下内容を順守してください。<sup>①</sup>  
 (1) 隊長・団委員長が研修所を未修了の場合、**年度内に必ず修了**してください。<sup>②</sup>  
 (2) 隊長・団委員長を2年以上継続している場合、なるべく速やかに実修所を修了してください。<sup>③</sup>

画面に表示しながら審査  
(画面の一部を加工しています)

## パインウッドダービー東京大会

## 副コミッショナー 嶋崎 正男

2月28日(日)、豊島区駒込の本郷学園でパインウッドダービー東京大会が開催され、コロナ禍の緊急事態宣言中ということもあり、スカウトは集めずに“記録会”という形式を取りました。

万全な感染対策のもと、13地区から646台が出走し、各地区の副コミッショナー、野営行事委員会の方々のご尽力により、無事終わることが出来ました。

当初、東京大会の開催も危ぶまれていましたが、せっかくスカウトが工夫を凝らして作ったパインウッドカーなので、「何としても走らせてあげたい…」との強い思いで、スカウトは集めずに、また“地区予選も免除”の特別ルールでの開催となりました。

あすなる地区からは中野8団と杉並11団の2ヶ隊の出場でしたが、うさぎ部門で中野8団の徳弘敦也さんが、第2位の好成績を収めました。

参考までに今回の大会のデザイン賞受賞のレースカーを紹介します。

来年度はパインウッドダービーの地区予選も開催する予定ですので、地区内の多くの団の参加を期待します。



徳弘敦也さんのレースカー (上) と  
デザイン賞受賞レースカー (右)

# 東京連盟セーフ・フロム・ハームセミナー

セーフ・フロム・ハーム安全委員長 武藤八朗

1月31日(日)、2020年度東京連盟セーフ・フロム・ハームセミナーが開催されました。

対面での開催が難しいため、ZOOMによるオンラインミーティングとなり、参加者が156名と多かったため、午前と午後に分けて2回開催され、あすなる地区からは12名が参加しました。

講師は東京連盟県コミッショナーの村山大介さんで、パネルを写しながら解説がありました。

## セミナーの目的

- ・セーフ・フロム・ハームを正しく理解する。
- ・スカウトのセーフ・フロム・ハームについて知る。
- ・指導者のセーフ・フロム・ハームについて知る。
- ・もしもの時の対応について知る。
- ・事故を防ぐために日頃から取り組むことについて知る。

## 指導者としての取り組み

- ・全ての人の尊厳を尊重する
- ・平等に扱う
- ・相手の嫌がることはやらない
- ・脅威を与えたり、感じさせる言動を使わない
- ・どのような悩みにも親身に相談にのる
- ・Webサイトの取り扱いに注意する
- ・活動中にスカウトの前で喫煙しない
- ・スカウト活動中、飲酒はしない
- ・スカウトに対し指導者は複数に対応する

「指導者としての取り組み」では、指導にあたっておどかしの言葉や大声を出したりせず、「やれ！」でなく「やってみようか」など、相手を尊厳して丁寧な言葉かけをしていくこと、性別、信条などで差別しないこと、活動中の飲酒は正常な判断、行動ができないことからしないこと、喫煙も健康に害のあることから、喫煙する姿を子供たちに見せないこと、WEBサイトは個人情報の流出が多いため取扱いに注意すること、などの説明がありました。

## スカウトへの望ましい指導

- ・活動中のふさわしい服装の指導
- ・宿泊を伴う活動時にスカウトの深夜の一人行動(トイレ、入浴)の禁止。
- ・スカウトが気軽に報告、連絡、相談できる環境づくり。
- ・「いじめ」は許さない。
- ・「怒る」指導者ではなく、「叱る」指導者になる。感情的にならない。

## 指導者どうしの関わりの中で

- 適した役割を分担していますか？
- 分担した役割が実行できるよう協力・支援・相談体制はありますか？
- 年齢や性別で差別していませんか？
- 意見を素直に聴いたり、意見を言える環境ですか？
- 好き、嫌いで態度を変えていませんか？
- 問題が起きた時、団委員長やコミッショナーへ相談したり、相談できる体制がありますか？
- 活動外でも酒気を帯びての会話を付けていますか？

「スカウトへの望ましい指導」では、例えば真冬の寒い時に半袖の制服を着用することについて、セレモニーに限って気持ちを統一するため、時間を区切っていること、セレモニーの後には上着の着用は自由になっているなど、保護者にも制服着用の理解を得られるよう説明することや、スカウトが指導に従わない場合、感情的になって「怒る」指導ではなく、なぜ聞かないのか、指導者自身に問題や間違えがないのかなど、反省しながら対応することが大切との説明がありました。

## コロナ禍のセーフ・フロム・ハーム

- ✓ 感染予防が大切で、活動中に感染した恐れがある場合、医療機関や保健所の指示に従い対応する。
- ✓ スカウト、保護者、外部から感染や感染者個人について問い合わせがあった場合、問い合わせに答えず、個人名は公表しない。もし、問い合わせがあっても、「うちの団にはいません」と回答すると他の団に連絡がいくことになるので、「いるともいないとも答えられません」と答える。

## 指導者として日頃から取り組むこと

- ✓ スカウトの様子を観察し、行動、言動が気になれば指導者間で共有し、必要であればスカウトに声をかける。
- ✓ スカウトの良いところを見つけ、伸ばすことを指導者として心がける。
- ✓ 様々な活動画面でスカウトと接する中で「思いやり」のある行動を。
- ✓ SNSでの画像の扱いなど、個人情報の取り扱いに注意する。
- ✓ 学校や家庭、地域の教育について関心を持ち、指導に活かす。
- ✓ コンプライアンスチェックを常に意識し、自分の行動、言動に責任を持つ。



## パインウッドダービーの車づくり

## 中野8団カブ隊

中野8団カブ隊はパインウッドダービー参加のための1回目の集会として、11月1日(日)の組集会で、「自分だけの車をつくるぞ!」をテーマにして、車のデザインを考えました。

12月13日(日)の2回目の集会で工作をスタートし、デザインをキットに書き写してノコギリで切ったあと、様々なヤスリで磨きました。去年に続き、保護者インストラクターの“工作おやじ”には、次から次へと加工の相談にスカウトが並び、午前と午後の時間をかけ、早いスカウトは午後までに色塗りまで進みました。

地区大会は開催されないことになりましたが、東京大会では“スピード”か“デザイン”での入賞を目指します!



12月20日(日)の3回目のパインウッドダービー工作の組集会は、手先の準備体操として、体の周りの“もやい結び”にチャレンジして、リーダーとも“もやい結び競争”で対決しました。

前回から作業をスタートしたスカウトは、そろそろ仕上げの段階で、お休みだったスカウトは急いで追いつけるように作業を開始し、“工作おやじ”は作業のお手伝いやアドバイスで大忙しでした。

今年はスプレーでのペイントに工夫が見られ、レベルが高くて入賞が期待できそうです。

車が完成したスカウトは、段ボールで作った特設のレーシングコースで試運転も出来ました。





## チキン料理でクリスマス集会

## 杉並12団ボーイ隊

12月20日(日)、杉並12団ボーイ隊は井草地域区民センターの料理室で、「チキン料理でクリスマス集会」を開催しました。

毎年、ボーイ隊ではクリスマスの頃にキャンプを開催していましたが、コロナウイルスで宿泊を伴うキャンプができないため、クリスマスらしく、チキン料理でクリスマスを楽しむことになったものです。

班別に料理のメニューと材料を決め、丸ごとチキンは販売している店を探すのに手間取りましたが、前日と当日に分けて野菜、調味料などの食材も買い求め、エプロン、頭にバンダナ、マスク姿で調理にとりかかりました。

チキンはもも、手羽先などに少しずつ解体し、醤油たれをかけてフライパンで焼きましたが、予想以上に簡単に焼き上がりました。

ご飯も炊いて、鮭フレーク入りの海苔を巻いたお握りと、餃子の皮にピザペストを塗り、とろけるチーズとピーマンを乗せてオーブンで焼いたミニピザ、ベーコン入りの野菜スープ、フルーツたくさんのポンチ、白玉入りのお汁粉もできあがり、クリスマスらしい手作りの料理をおいしくいただきました。



食材の買い物



隣の公園にハイキングのビーバー隊とゲーム



用意した2羽のチキンの醤油たれ作り



もも、手羽先などを解体してフライパンで焼き、おいしく出来上がり



野菜スープ、フルーツポンチづくり



ローバーの副長は白玉入りお汁粉づくり



餃子の皮にピザペスト、チーズ、ピーマンを乗せた“ミニピザ”



御飯を炊いて、お握り作り





# さよならパーティーを開催

# 中野11団

中野11団は12月13日(日)、年内最後の活動として、恒例の「さよならパーティー」を開催しました。ベンチャー隊企画の追跡ハイクは、中野に散らばった玉を集めて、ある人物を復活させるというものでした。各隊のスカウトを縦割りの2チームに分け、ベンチャー隊の2人が班長となり、1人は運営側で、主に中野区の南側の公園に自転車で先回りして、様々なミッションを設定しました。



中野区立本五ふれあい公園で、ロープでいろいろな道具を運び出すミッション

渋谷区立二軒家ふるさと公園



渋谷区立二軒家ふるさと公園で、カブは“もやい結び”、ボーイは“ひとえつぎ”、ベンチャーは“トートランヒッチ”のロープワークがお題

中野区立本一公園で、約3mのロープを使って距離を測定



中野区立本二東郷やすらぎ公園でお昼ごはん

中野区立中央公園で、投げたボールが的に近いかを競うペタンク！

中野区立紅葉山公園でガチャガチャのカプセルに入った宝を探します



みんなで「ネコとネズミ」ゲーム

勝ったチームに寒い中のガリガリ君。でも好評



## 年末の野外活動 ハイク200の表彰

## 杉並6団ボーイ隊

毎年12月最後の活動はボーリング大会と食事会を実施していましたが、コロナ感染防止の観点から、12月27日(日)、杉並3団の活動場所を特別にお借りして、屋外で立ちかまどの製作、野外料理、通信のプログラムの活動に変更しました。

この日、東京連盟ローカルアワードのハイク200(プラチナハイカー)の表彰のため、岡村地区協議会長、佐藤地区委員長、下地地区コミッショナーにお越しいただき、当隊の三枝真杜さんと、三枝遥陽さんに伝達されました。

おいしく出来上がったカレーライスの昼食をいただいたあと、班集会で事前に学んだモールス信号を使ったゲームを行いました。

天候にも恵まれ、2020年最後の隊集会を無事に終えることができました。

2021年もコロナ禍の中での活動が続くと思いますが、感染防止対策を徹底して、ハイキングやキャンプなど、楽しいプログラムを展開していきましょう。



立ちかまど、調理場を作って調理



ハイク200(プラチナハイカー)の授与



全員で記念撮影



カレーライスの昼食



モールス信号を使ったゲーム



閉会セレモニー



# オンラインでバーチャル活動

# 杉並11団ボーイ隊長 米田 元

緊急事態宣言下でも、スカウトたちがボーイスカウト活動への意欲を持ち続けられるよう、杉並11団ボーイ隊はオンラインで頻繁に活動しています。

隊集会では、これまでキャンプ、ハイキング、読図、救急法などについて、ZOOMのオンライン集会中に、少人数に分かれてグループミーティングができる「ブレイクアウトセッション」の機能を使って各班に分かれ、意見交換をしたり、課題に取り組んでいます。地図や写真を画面に映し出し、班ごとにハイキング技能を確認しながらの“バーチャル・ハイキング”も行います。

息抜きもかねてオンラインでできるゲームも行っており、家の中のモノを持ってきて“しりとり”をしたり、画面で2つの絵を見て間違い探しをしたり、班長がジェスチャーで表現するものを班員が当てるゲームなどを行って、班対抗で競っています。

班集会では、活動計画の話し合い、オンラインでできるゲーム、隊集会に向けた課題や技能向上の取り組みなどを行っています。パソコンの前に長時間座って会議に集中するというのは大人でも大変ですが、隊集会は2時間、班集会は1時間を目安に行い、時間を区切って多様な内容を扱い、班に分かれてスカウトが参加型で取り組むことで、飽きがこないようにしています。

4月のボーイ隊上進を目指す月の輪スカウトたちにも、毎回参加してもらっています。ボーイ隊に3班、月の輪にも3班あるため、毎回違う班同士の組み合わせで、月の輪スカウトにボーイ隊のオンライン活動を体験してもらっています。

コロナ禍で月の輪歓迎キャンプが延期となったため、代わりに各班長から月の輪にボーイキャンプの説明も行ってもらいました。月の輪スカウトたちは、いきなりオンラインでボーイ隊の各種技能に触れて、少し戸惑いもあるかもしれませんが、少しずつ慣れていってもらえればと思います。

コロナ禍でなかなか先が見えませんが、今後も工夫しながら楽しいオンライン活動を行い、対面活動の再開を待ちたいと思っています。



各班長が分担して月の輪スカウトにボーイキャンプについて説明



キャンプ課題の資料の例



ハイキング課題の資料の例